

広島県聴覚障害者センターだより



Hiroshima Chosho Center

広島県聴覚障害者センター

〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目6-29

電話：082-254-0085

FAX：082-254-0087

メール：minami@hiro-chokaku.jp

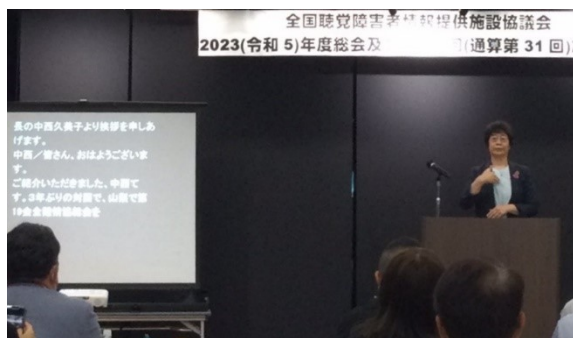
ホームページ：[https:// hiro-chokaku.jp](https://hiro-chokaku.jp)

2023年8月号

No.74 2023(令和5)年8月1日発行 (毎月1日発行)

全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会 & 施設大会 報告

6月23日に山梨県甲府市で、この大会が開かれ、センター長代理として参加しました。今年は3年ぶりの対面開催で、前夜の懇親会では役員や施設長など約80名が集い、おいしい甲州ワインをいただきながら情報交換ができました。ベテランの手話通訳や要約筆記も拝見し、充実した2時間でした。



総会での、全聴情協理事長中西久美子さんや全日ろう連理事長石野富志三郎さんのご挨拶にも2025東京デフリンピックへの意気込みを感じました。施設大会では、「聴覚障害者情報提供施設における相談支援のあり方」をテーマに厚労省・全日ろう連・相談支援者の立場でのシンポジウムがあり、これからの当センターでの相談支援を考える良い機会となりました。来年度は宮城県仙台市で行われます。(鈴木)



総会での重点事項(専門委員会の再編)

～2022年度

- ①意思疎通支援事業に関する専門委員会
- ②情報メディアに関する専門委員会
- ③ICT 専門部会準備チーム
- ④相談支援専門部会準備チーム



2023年度～

- ①意思疎通支援担当者研修委員会
 - ②映像制作担当者研修委員会
 - ③相談支援担当者研修委員会
- これらを統括する「政策委員会」を新設。専門的な政策提言をおこなう。

施設大会の概要

テーマ「聴覚障害者情報提供施設における相談支援のあり方」

1. 厚労省 富原氏…アンケートの結果、ビデオライブラリー事業の動画配信へのニーズの高まりと映像制作専任職員の配置の要望、相談事業の情堤の役割強化とテレビ電話での相談急増などがわかった。
2. 全日ろう連 吉野氏…ろうあ者相談員をすべての情堤に専門職として配置すれば、乳幼児から成人まで手厚く支援ができるようになる。ろう者の特性や背景など知り尽くし、対応するためには研修が大事。
3. 東京手話通訳等派遣センター 森氏…情堤の相談員は、他業務を兼務しないで専念できること、カンファレンスや家庭訪問などができること、スーパービジョン(相談員が専門家や指導者に相談する)を受けられること、ろう相談員は通訳を使えることなどの体制づくりが必要。